

久米島町に神々が舞い降りた！

宮崎県三川内神楽久米島公演

1月25日(土)、字兼城公民館で三川内神楽第2回久米島公演が行われました。三川内神楽は、宮崎県延岡市の無形文化財に登録され、江戸時代中期から現在まで継承されており、五穀豊穡を願い霜月祭で神に奉公する舞として親しまれ、古事記や日本書紀に描かれている天岩戸神話や天孫降臨を舞で表現します。この日は小学2年生の山本君(宮崎出身)が乱暴者とされるスサノオノミコトの難しい役を力強く演舞し、観客を魅了しました。



ご寄附誠にありがとうございます

琉球セメント(株)様 寄附贈呈式

1月21日(火)、琉球セメント株式会社中村秀樹代表取締役社長より、同社創立60周年を記念して大田町長に寄附金目録(50万円)が贈呈され、「子ども達の育成に活用して頂きたい」とお言葉とともに受領いたしました。大田町長は「久米島の子ども達へ有効に活用したい」と述べました。寄附金は教育(人材育成)に活用されます。

この度は創立60周年誠にありがとうございます。更なるご発展とご活躍ならびに沖縄県民の社会基盤を支えてくださいますよう、よろしく申し上げます。



たくさんのお仕事楽しんだよ！

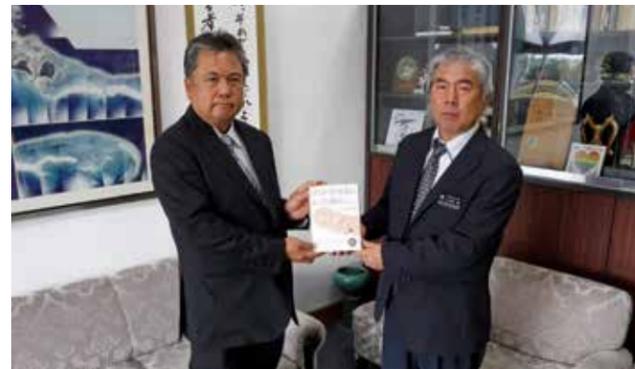
わくわくワークお仕事体験

仕事を体験することで児童の就業意識の向上や島内の事業所への興味関心を深めることを目的に「職業体験型イベントわくわくワーク」を1月22日に具志川改善センターにて開催しました。町内全小学校の児童ら約350名が参加し、会場では警察の鑑識体験、義肢装具士による指のコピー作りやフラワーアレンジメント体験など、18の多種多様な体験ブースが設けられ、児童たちは積極的に体験を行いました。児童は「役に立つ仕事を体験できたので、将来、どんな仕事に就くか深く考えられました」「ほかにどんな仕事があるのか興味が出てきました」と感想を述べ、少しでも「仕事について」知れたきっかけとなりました。



水口博也さんからの本の寄贈

写真家、海洋ジャーナリストとして活躍されている水口博也さんより島内の小学6年生77名、中学3年生76名に本「ぼくが写真家になった理由(わけ)ークジラに教えられたこと」の寄贈がありました。水口さんより、「多くの本を通して他の人たちの知識や考えかたにふれながら、ご自身の暮らしや考えかたを好奇心とともに豊かにしていっていただければ幸いです。」と卒業を目前にした児童・生徒へのメッセージも添えていただきました。

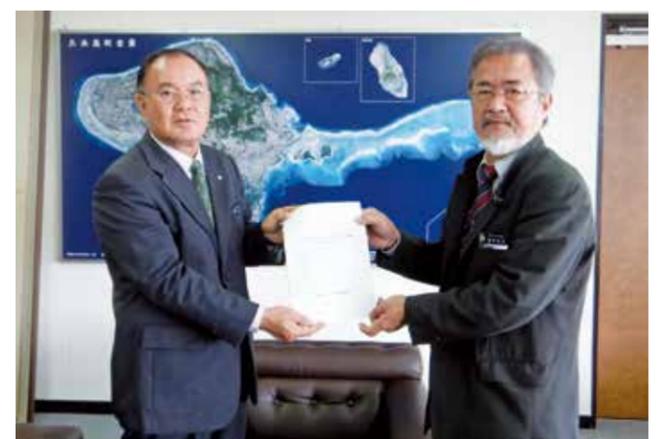


町長へ第三セク経営評価報告提出

久米島町第三セクター等経営評価委員会

久米島町では、第三セクター等の自立性を高め、経営の健全化を促進する事を目的に専門家や有識者を含めた「久米島町第三セクター等経営評価委員会」を、令和元年10月30日に設置しました。

評価委員会では、バーデハウス久米島の運営等について、3回にわたり検討を重ねた結果を、「町が出資する第三セクター等の経営評価に関する報告書」へ取り纏め、令和2年1月27日に、棚原哲也委員長から町長へ報告書が提出されました。これを受け、町では今後の運営方針を検討する予定です。



行政×学校×産業一体キャリア教育が評価

久米島町教育委員会受賞報告

町教育委員会が、文部科学省が主催する「第13回キャリア教育優良教育委員会」として文部科学大臣から表彰状を授与され、吉野教育長が大田町長に表彰の報告に訪れました。この表彰は、文部科学省が推進する学校、地域・社会、産業界が一体となって取り組むキャリア教育の充実発展に尽力したと認められる教育委員会、学校等を表彰するもので、教育委員会の部門では全国から16教育委員会が表彰されました。吉野教育長は、「小学校の職場見学や中学校の職場体験等の際には、町商工会の協力のもと多くの事業所が子どもたちを温かく受け入れて下さることに感謝したい。これからも、島全体で取り組むキャリア教育を通して、島に誇りと愛着を持つ子ども達を育てていきたい。」と力強く述べておりました。



卓球は生涯スポーツ！やろうよ卓球！

久米島卓球愛好会 会員募集

令和2年2月、久米島町卓球愛好会が結成しました。同会は毎週月・火・金の午後2時から午後5時、現在会員10名、場所は旧久米島中学校校舎3Fで活動しています。代表の大田英二さんは「卓球は体も動かすし、頭も使うから健康にすごく良い。愛好会としてこの場を町民へ開放し、健康管理や友達作りの場として活用したい。」と述べました。この日参加していた最高齢喜久里さん(80歳)の俊敏な動きと高速ラリーには驚かされました。体験・入会希望の方は旧久中3Fへ！(月会費500円、ビジターは100円)